

## 「跡部踊り念仏」の保存・伝承事業

### 取組に至る背景・事業の目的

- 一遍上人ゆかりの「跡部踊り念仏」は736年間にわたり跡部区に伝承されてきており、平成12年には国の「重要無形民俗文化財」に指定され現在に至っている。(国重要無形民俗文化財の指定は長野県内で9件、佐久地域では跡部踊り念仏の1件)
- 現在、伝承者の高齢化が進んでいるため、伝承者の増員と若年層の後継者育成を図ることが必要となっている。



【夏休み子ども踊り念仏】

### 事業内容

- 「跡部踊り念仏」に関して、一遍上人の生い立ち、佐久へ伝えられた経緯から現代までの伝承の歴史を冊子「跡部の踊り念仏」に編纂し1,000冊を区民や図書館等へ配布
- 区民向けにビラ等で周知を行うとともに、冊子を使った学習会を開催
- 小学生を対象とした「夏休み子供踊り念仏」を開催。これに合わせ、子ども用法被を新たに製作

### 事業効果

- 区民及び地域の「跡部踊り念仏」認識度の向上  
冊子「跡部の踊り念仏」・「区民向けビラ」の全戸配布、関係市町村長等への配布、またマスコミ報道によって、区民や地域住民の認識度は大きく向上した。
- 一遍上人ゆかりの藤沢市での公演(本年7月)、野沢公民館の来年4月3日(日)「定例会ツアー」の計画、今も続く冊子希望者等々、事業の成果は着実に広がっている。
- 踊り念仏伝承者の増員  
目標年度H26年 対H24比 20%増  
実績 H26年度の入会者 2名 (8%増)
- 踊り念仏「定例会ツアー」参加者の増加  
目標年度H27年4月 対H24比 20%増  
実績 約150名の参加者 (15%増)



【冊子「跡部の踊り念仏」】

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

今回の事業によって作成された、冊子「跡部の踊り念仏」や「子ども踊り念仏」を大きな力として、また区民や地域の認識度の高まりをチャンスに、「区民学習会」と「広報活動」を通して、伝承者の増員と「定例会ツアー」参加者増加を図りたい。

#### 【選定のポイント】

踊り念仏を確かなものとして、保存・伝承していくための冊子を制作し、併せて区民学習会を3回実施したほか、子ども踊り念仏を開催するなど区内外への認知度向上に努めた。

本事業による周知もあり、伝承者の増員(入会者2名)や定例会ツアーの参加者の増加(約150名、対H24年比15%増)にも結びついた。

団体名 跡部踊り念仏保存会(佐久市)  
連絡先 0267-62-3227(会長 須江 仁胤)

事業タイプ ソフト事業  
事業費 903,199円  
支援金額 661,000円